

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 3863  
18年6月15日(金)  
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

## 動かないエアコン

梅雨の中休みと言うところでしょうか！ここ数日は晴れの暑い日が続いています。

その暑い中、長崎中央郵便局3階の男子更衣室のエアコンが作動しません。4月末頃にも暑い日があり私がスイッチを入れると、その時も作動しませんでした。思い起こせば昨年も暑い時期に長い間作動しないことがありました。

一度は課長にも修理をお願いしましたが、いまだに直されていません。更衣室を使う時間は業務時間外なので直す必要は無いとの判断でしょうか。

## 正しい弾力運用とは

経費削減対策の弾力運用ですが、7時間勤務となる者に対して管理者から「今日は弾力運用だから計配し

て」などの指示が出ます。しかしその日の通配勤務者が全て7時間勤務と言うことはありません。8時間勤務者は当てはまらないので普通に配達します。

また、弾力運用で超勤になつた者に対しても厳しく指導する事もあるように思っています。



## 第26回パート・派遣など非正規ではたらくなかまの全国交流会

安倍政権が進める「働き方改革一括法案」の採決が5月25日、衆議院厚労委員会で強行され、自公与党

と維新の賛成で可決し、参議院に送られました。

当初「働き方改革」の方向として、同一労働同一賃金の実現を重要課題として位置づけ、「非正規という言葉葉を無くす」とその決意が述べられ、生活に困窮している非正規労働者から大きな期待が寄せられていました。しかし、法案の中身は真逆であり、正規職員をなくすことで「非正規という言葉葉を無くす」改正？だと言つことが明らかになってきています。

これは労働者保護ではなくて経済界のための改正としか言いようがありません。そんな中、今年も6月9日〜10日にかけて「非正規ではたらくなかまの全国交流会」に参加してきました。

## 1日目(全体会)

まず記念講演として「教育と貧困」について考える」が行われました。講師は元文部科学省事務次官の前川喜平さんです。この方は、加計学園問題でテレビや新聞でも取り上げられ話題の方と言つこともあり、会場には多くの方が集まりました。



この日の夜は、東京のユニオンメンバーが「郵政ではたらくなかまの交流会」セッティングしてくれました。築地の朝日新聞本社ビルにあるレストランALLA SKAは雰囲気もよく、特製カレーは3回おかわりしてしまいました。

仲間が発表しました。札幌ではコンビニ店員が「さつぽろ青年ユニオン」に加入し、労働環境の改善に向けて闘っている状況を報告。

郵政ユニオンからは「郵政20条裁判」の経過と、職種・業界の垣根を越えてあらゆる仲間と連帯し、皆で国を動かす闘いの大切さを訴えました。

## 2日目(分科会・サウンドデモ)

今回13もの分科会が用意されていた中で私は「ブラック職場をなくす」労働組合の活動と活用を知る」に参加しました。講師は東京法律事務所の笹山尚人さんです。

労働組合の法的な位置、労働契約とは何か、労働法の存在理由などを非常に分かりやすく教えて頂きました。その後全国の方とのグループディスカッションで、かかえている問題や活動について語りました。

今回の分科会で私が印象に残つたのは、笹山先生が話された「いきいきとした労働組合の活動をつくる」の部分です。非正規雇用の当事者は、自ら主体的に参加する。活動そのものをカッコよくしていき、やりがいのある楽しいものにしていこうと言ふことでした。即実行です！



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別!

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ!